

アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチによる若者支援

～社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立に向けて～

講師； 谷口仁史さん（NPO 法人スチューデント・サポート・フェイス代表理事）

主催； 一般社団法人 部落解放・人権研究所 調査・研究部

〒552-0001 大阪市港区波除 4-1-37 HRC ビル 8 階

TEL：06-6581-8572/FAX：06-6581-8540 担当：棚田洋平

当研究所では、この間（2011 年度～）「若者の生活とリテラシー研究会」を立ち上げ、2013～2015 年度は科学研究費調査「社会的困難を有する若年者のリテラシー実態とその支援に関する実証研究」（研究代表：岩槻知也）として、更生保護施設、自主夜間中学、識字学級等の「困難を抱える」若年者のリテラシーの実態とその支援のあり方について調査研究を進めてきました。

ついては、本調査研究への示唆を得るために、谷口仁史さん（NPO 法人スチューデント・サポート・フェイス代表理事 その他、プロフィールは別添資料参照）をお招きして、以下の要項で学習会を開催することにいたしました。

せっかくの機会ですので、多くの方々にご参加いただき、実りある学習、議論の場になればと思います。

○ 特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス（佐賀県）；

<http://student-support.jp/>

「出かける」「つながる」「はぐくむ」をキーワードに、不登校・ひきこもり、非行等不適應問題を抱える子どもたちや若年者を主な対象として、アウトリーチ（訪問支援）による支援活動等を地域若者サポートステーション事業、生活困窮者自立促進支援モデル事業等を活用して実施している。

○ 内閣府；よりそい～不登校・ひきこもりに対する民間支援団体の活動事例集

http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/yoriso/htm/3_20.html

○ 文部科学省；教育関係 NPO 法人の活動事例集

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/npo/npo-vol2/1316527.htm

日時： 2014 年 3 月 29 日（土）14:30～17:00

場所： HRC ビル 5 階ホール（〒552-0001 大阪市港区波除 4-1-37）

http://blhrrri.org/news/blhrrri_news/374/374_topics_006.html

報告テーマ： アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチによる若者支援 ー社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立に向けてー

報告者： 谷口仁史さん（NPO 法人スチューデント・サポート・フェイス代表理事）

お申込み方法： 参加申込書に必要事項を記載のうえ【申込締切 2014/3/24（月）】

メール（kenkyubu@blhrrri.org）、または FAX（06-6581-8540）でお申し込みください。

※ どなたでも、ご自由にご参加いただけます [無料]

講師プロフィール； 谷口 仁史（たにぐち ひとし） 1976年生まれ、佐賀県武雄市出身。

佐賀大学文化教育学部卒業。在学中からボランティアで不登校、ニートへのアウトリーチ（訪問支援）に取り組む。卒業後、大学教授ら有志を募り「NPO スチューデント・サポート・フェイス（略称 S.S.F.）」を設立。2012年3月末日現在、委託事業を含む8万5千件を超える相談活動、約7,000件のアウトリーチに携わった他、関係機関とのネットワークの構築や「職親制度」等社会的受け皿の創出、執筆や講演活動など多彩な活動を通じて、佐賀県版「コネクションズ・サービス」（社会的孤立・排除を生まない支援体制）の確立を目指している。近年はその実績が認められ教育・労働分野を中心に各種公的委員を歴任し、政府系では、「社会保障審議会特別部会」、「子ども・若者育成支援推進点検・評価会議」等で委員を務める他、アウトリーチに関しては、「若年者向けキャリア・コンサルティング研究会」や「高校中退者等アウトリーチワーキンググループ」等で委員を務めるなど、子ども・若者支援の全国的な取組の推進にも貢献している。

- 特定非営利活動法人「NPO スチューデント・サポート・フェイス」代表理事
- さが若者サポートステーション総括コーディネーター
- 佐賀県子ども・若者総合相談センター長
- 【公的委員等】※2012年9月31日現在
- 社会保障審議会「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」委員（厚生労働省）
- 「子ども・若者育成支援推進点検・評価会議」構成員（内閣府）
- 「地域若者サポートステーション」事業の今後のあり方に関する検討会（厚生労働省）
- 「困難を有する子ども・若者及び家族への支援に関する調査研究」における企画分析会議（内閣府）
- 「子ども・若者の生活困窮支援のあり方に関する研究」委員会（厚生労働省）
- 佐賀市福祉・就労支援運営協議会委員（佐賀労働局）
- 平成24年度特別支援教育総合推進事業運営協議会委員（佐賀県立太良高等学校）
- 佐賀県職業能力開発審議会委員（佐賀県農林水産商工本部雇用労働課）
- 特定非営利活動法人全国若者支援ネットワーク機構理事（日本生産性本部）
- 佐賀県子ども・若者支援地域協議会委員（県こども未来課）
- 佐賀市社会教育委員（佐賀市教育委員会）
- 「生徒指導・進路指導総合推進事業」運営協議会委員・評価検討会議委員（県教育センター）
- 特定非営利活動法人「日本アウトリーチ協会」理事長（認証申請中）
- （終了分）
- 雇用戦略対話ワーキンググループ（内閣府）
- 高校中退者等アウトリーチ・ワーキンググループ委員（厚生労働省・日本生産性本部）
- 全国若者支援ネットワーク協議会サポートステーション部会長（日本生産性本部）
- これからの佐賀県教育をともに考える会委員（佐賀県教育委員会）
- 問題を抱える子ども等の自立支援事業運営協議会委員・同評価検討委員（佐賀県教育センター）
- 若者自立支援プログラム作成等委員会助言者（高知県教育委員会）
- 魅力ある学校づくり推進事業に係るアドバイザー会議委員（県教育委員会）
- 若年者向けキャリア・コンサルティング研究会及び作業部会委員（厚労省・中央職業能力開発協会）
- 佐賀県教育研究ネットワーク副会長（佐賀大学実践教育研究センター）
- 佐賀県次世代育成支援対策地域協議会委員（県旧こども課）
- 「青少年を取り巻く有害環境対策の推進事業」実行委員（県こども未来課）
- 市民活動プラザ運営委員会委員（佐賀市民活動課）
- 佐賀県教育委員会の点検・評価に関する有識者会議委員（県教育委員会）等

<参加申込 み用紙>

※申込締切； 2014年3月24日（月）

部落解放・人権研究所 調査・研究部

棚田洋平 行

E-mail : kenkyubu@blhrri.org

FAX : 06-6581-8540

2014年3月29日（土）14:30～17:00

公開学習会「アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用した

多面的アプローチによる若者支援」 に出席します。

お名前 （ ）

ご所属 （ ）

ご連絡先 / 電話番号 （ ）

電子メールアドレス （ ）

伝言欄

※ ご記載していただいた個人情報は、本学習会の目的以外で使用いたしません。